

社会福祉法人史明会

令和5年度 事業報告書

法人本部

1. 法人本部の主な業務

- ・理事会及び評議員会にかかる議案並びに日程の調整、議事録の作成
- ・法人会議にかかる議題並びに議事録の作成
- ・法人全体の収支等経営状況の把握
- ・法人の課題分析、対応等の検討
- ・契約、資金繰り、財産管理等
- ・国・県・市及び各種団体等の補助金・助成制度の活用
- ・監査業務の対応
- ・その他

2. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会関係

①令和5年 6月 3日開催（書面決議）

- ・第1号議案 令和4年度 事業報告書について
- ・第2号議案 令和4年度 決算について
- ・第3号議案 令和5年度 定時評議員会の開催について

[報告事項]

- ・第1号報告 ボイス西ノ京留学生雇用に係る社宅寮(マンション2室)の借上げについて

[その他]

- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエの休止について(経過報告)

②令和5年 6月15日開催（書面決議）

- ・第1号議案 理事長の選任について
- ・第2号議案 社会福祉充実計画の策定不要について
- ・第3号議案 理事長選任及び資産の総額変更に伴う登記事項証明書の変更登記について
- ・第4号議案 給与規程の改正について
- ・第5号議案 特別養護老人ホームリノ自家消費型太陽光設置工事にかかる一般競争入札の実施について

[その他]

- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエの休止について(経過報告)

③令和5年 7月18日開催（書面決議）

- ・第1号議案 令和5年度 第1回補正予算について
- ・第2号議案 特別養護老人ホームリノ自家消費型太陽光設置工事にかかる一般競争入札の結果等について
- ・第3号議案 ユニット型指定介護老人福祉施設運営規定(リノ)の改正について
- ・第4号議案 短期入所生活介護運営規定(リノ)の改正について

④令和5年 8月17日開催（書面決議）

- ・第1号議案 看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエの廃止について

⑤令和5年12月15日開催（対面決議）

- ・第1号議案 社会福祉法人史明会介護職員寮（仮称）の購入計画について
- ・第2号議案 非常勤職員就業規則の改正について
- ・第3号議案 第2回補正予算について

[報告事項]

- ・第1号報告 ボイス東山の外壁等改修工事について
- ・第2号報告 ボイス東山裏山（所有地）の斜面一部崩落に伴う復旧工事について
- ・第3号報告 ボイス西ノ京留学生雇用に係る社員寮（マンション2室）の借上げについて
- ・第4号報告 リノ技能実習生雇用に係る社員寮（マンション1室）の借上げについて
- ・第5号報告 高齢者虐待防止法による奈良市任意の調査結果について

[その他]

- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエ転用に向けた手続きについて(経過報告)

⑥令和6年 2月20日開催(書面決議)

- ・第1号議案 共生型小規模多機能型居宅介護事業所バリエの計画中止について

⑦令和6年 3月 8日開催（対面決議）

- ・第1号議案 令和5年度 補正予算（第3回）について
- ・第2号議案 令和6年度 事業計画書について
- ・第3号議案 令和6年度 当初予算について
- ・第4号議案 看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエの廃止（R6.3.31）に伴う基本財産の処分について
- ・第5号議案 看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエの廃止（R6.3.31）に伴う定款変更について
- ・第6号議案 社会福祉法人史明会介護職員寮（仮称）の購入計画中止及び購入に係る補助金の取り下げについて
- ・第7号議案 評議員選任・解任委員会の委員選任候補者の推薦・選任について

[報告事項]

- ・第1号報告 ボイス西ノ京での留学生雇用に係る社員寮の借上げについて

- ・第2号報告 リノでの技能実習生雇用に係る社員寮の借上げについて

(2) 評議員会関係

①令和5年 6月15日開催(書面決議)

- ・第1号議案 令和4年度 事業報告書について
- ・第2号議案 令和4年度 決算について
- ・第3号議案 新役員の選任について

[その他]

- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエの休止について

②令和6年 3月18日開催(書面決議)

- ・第1号議案 看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエの廃止(R6.3.31)について
- ・第2号議案 看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエの廃止(R6.3.31)に伴う基本財産の処分について
- ・第3号議案 看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエの廃止(R6.3.31)に伴う定款変更について

3. 国・県・市及び各種団体の助成制度を活用した主な事業(100万円以上)

(1) 国・県・市の助成制度を活用した予定事業

①ユニット型施設の各ユニットへの玄関口設置によるゾーニング経費支援事業 (特別養護老人ホームリノ)

- ・総事業費：2,365,000円(内補助額：2,180,000円)

②新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業 (特別養護老人ホームリノ)

- ・総事業費：3,013,900円(内補助額：3,013,000円)

③障害福祉サービス事業所・施設における光熱費等高騰対策一時支援事業 (ボイス・ボイス西ノ京)

- ・補助額：1,092,000円

④介護サービス事業所・施設における光熱費等高騰対策一時支援事業(リノ・バリエ)

- ・補助額：1,913,000円

(2) 各種団体の助成制度を活用した予定事業

①公益財団法人あすなろ福祉財団の助成金制度(障害者支援施設ボイス外壁改修工事)

- ・総事業費 8,800,000円(内補助額：500,000円)

4. 苦情対応への取組

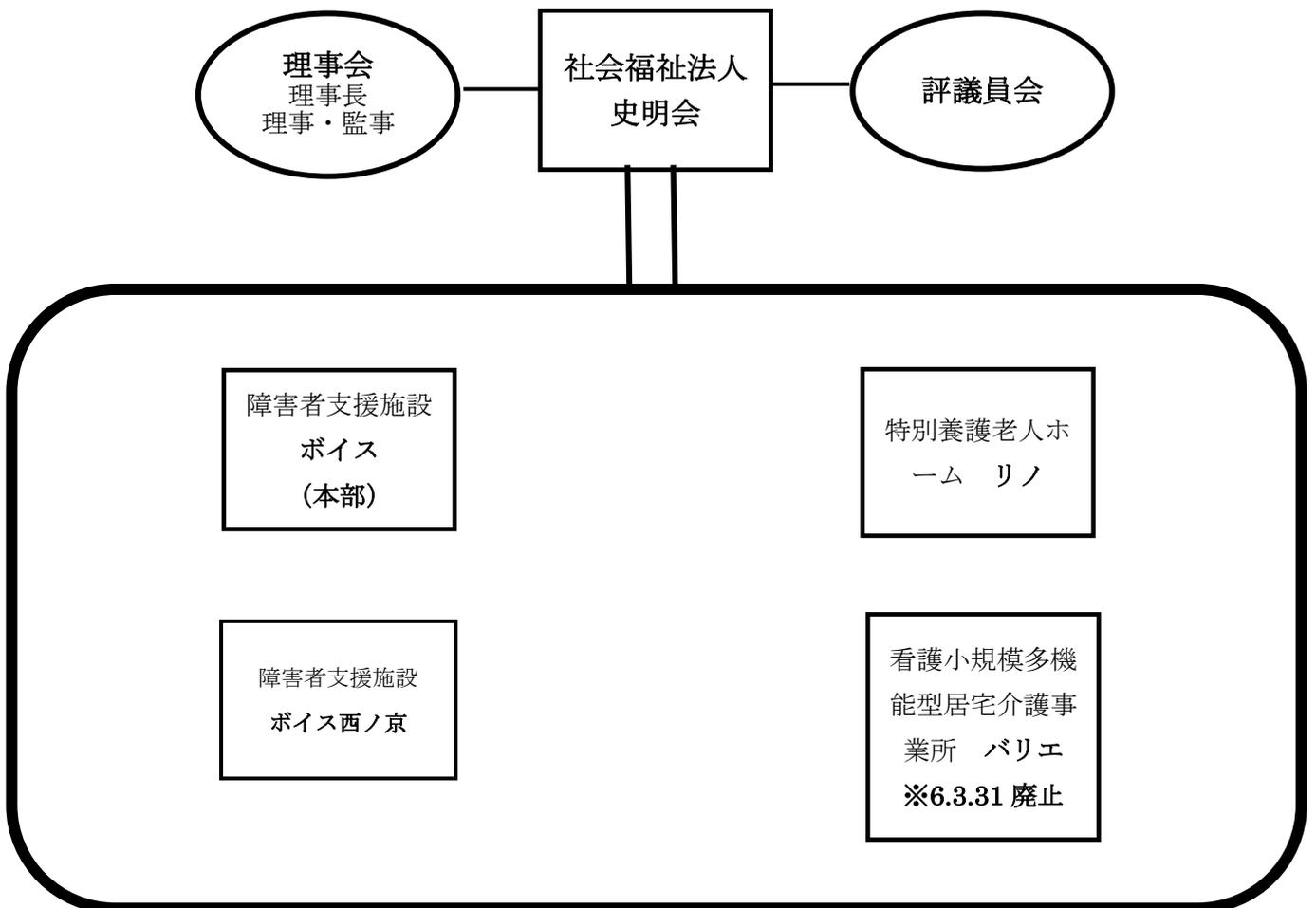
令和6年3月現在では、第三者委員会への苦情解決結果及び苦情原因の改善状況

に関する報告事項はありません。

5. 組織図等

法人理念に基づき、多種多様な介護・福祉サービス利用者のニーズに応えることができるような事業展開を行う。現在、障害者の入所 2 施設及び高齢者の入所 2 施設の運営と、地域密着型の看護小規模多機能型居宅介護（介護保険）事業所の運営を行っている。各種法令を遵守し、ガバナンスの強化と人材の確保、ホームページの充実など透明性の高い運営を実施し、現事業の安定的運営を行っていくと共に財務規律の強化にも力を入れ、新事業の展開を図っていく。

なお、地域密着型の看護小規模多機能型居宅介護（介護保険）事業所の運営については、令和 6 年 3 月 31 日をもって廃止した。



社会福祉法人史明会

令和5年度 事業報告書

障害者支援施設ボイス・障害者支援施設ボイス 西ノ京

支援の概要：

令和5年度は新型コロナウイルスが5類に移行し、面会・外泊を順次再開した。ボイスではインフルエンザの流行、ボイス西ノ京では感冒症状（古典的な風邪）の罹患や、新規採用スタッフからの新型コロナウイルスの感染もあったが症状も軽症で、現場も感染対策の対応に慣れもあり、卒なく対応できていた。

ボイスでは体育館を借りてのミニ運動会を開催したり、委託作業だけではなく外出活動も可能な限り計画した。

ボイス西ノ京は誕生日外出での外食・散策を再開。月2回の外泊を定期的に行い保護者に通知し数名は毎月外泊することが出来ている。内1名は移動支援の利用を再開しマラソン活動も行っている。

若年層の利用者についてはボイスのミニ運動会に共同で参加することもできた。

人材確保と育成：

昨年末にボイスの主任が体調不良から入院となり年明けに急逝した。人員の急な補充も難しく、ボイス西ノ京から職員を派遣したり、兼務することで利用者の処遇に最低限必要な人員は確保することが出来たが、ボイスについては定着率の低さもあり、慢性的な人員不足となっている。人員の定着と指導は継続して次年度取り組む必要がある。

ボイス西ノ京については令和5年度に常勤職員が体調不良等で期初に退職が相次いだが、ハローワークと派遣社員、留学生の採用で充足及び定着することが出来た。

単独の事業所としての研修計画ではなく、ボイスとボイス西ノ京で一体的に研修を実施していくことで支援の幅を広げ個々の職員の成長を図る必要があると感じた。

各部門の取り組み：

行事：例年行っていた施設外での家族交流を兼ねた運動会と忘年会は中止とした。

季節ごとの食事や行事は例年通り実施し、誕生日プレゼントの購入、誕生日外出、ボイス会からのお菓子の提供、3密を避けた場所への外出、施設内イベントなど趣向をこらしている

アート：（ボイス）活動を楽しまれる方や作品展での入賞を目指して取り組む入居者様がおり、それぞれの目的をもって取り組むことができた。

（ボイス西ノ京）大きな作品に取り組むことはなかったが、数名の方は毎日色塗りや絵を描いて過ごすことができた。

委託：平日は委託作業活動、土日は休暇と生活にメリハリをつけることができたと思う。

運動：筋力維持のため施設外の散歩。外出が難しい方については施設内を周回するなど工夫した。

ボイスは近隣の運動場や体育館を借りて体を動かす機会を設けた。

ボイス西ノ京ではリハビリ室でのリハビリ機器を使用しての筋力アップも試行している。

音楽療法：感染症対策のため、外部からの立ち入りを制限する観点から、実施を見送った。

感染衛生委員会： インフルエンザ・感冒症状の感染はあったが、感染対応については職員も慣れてきており、卒なく対応できている。委員会では感染動向に注意を払い、会議ごとに感染動向に対して注意を促す等した。

給食委員会： 外出行事ができなかったことから、利用者それぞれの嗜好に応じた献立や誕生日のリクエストメニューを実施した。

虐待防止委員会： 新規職員にもボイス虐待防止マニュアルを配布し説明する等再発防止に努めた。

利用者入所状況（令和5年4月～令和6年3月）

ボイス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
月初日入所者	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
退所													
入所													
月末入所者	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360

ボイス西ノ京

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
月初日入所者	25	25	25	24	24	24	25	25	25	25	25	25	297
退所			1										1
入所						1							1
月末入所者	25	25	24	24	24	25	25	25	25	25	25	25	297

利用者の性別年齢別状況（令和6年3月31日）

ボイス

	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～80 歳	合計
男性	5	4	4	5	2		20
女性		8		1	1		10
合計	5	12	4	6	3		30

ボイス西ノ京

	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～85 歳	合計
男性	2	3	4	4		2	15
女性			1	3	2	4	10
合計	2	3	5	7	2	6	25

利用者の障害支援区分状況（令和6年3月31日）

ボイス

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	0	4	10	7	21
女性	0	0	0	6	1	2	9
合計	0	0	0	10	11	9	30

ボイス西ノ京

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	0	1	7	7	15
女性	0	0	0	0	5	5	10
合計	0	0	0	1	12	12	25

利用者の療育手帳所持状況（令和6年3月31日）

ボイス

	A	B	合計
男性	17	3	20
女性	5	5	10
合計	22	8	30

ボイス西ノ京

	A	B	合計
男性	15		15
女性	10		10
合計	25		25

利用者の身体障害者手帳状況（平成6年3月31日）

ボイス

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男性			1	1			2
女性			1				1
合計			2	1			3

ボイス西ノ京

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男性	1	2		1			4
女性	2	1	1				4
合計	3	3	1	1			8

社会福祉法人史明会

令和5年度 事業報告書

特別養護老人ホーム リノ事業報告

稼働率：

令和5年度は、施設での看取り等での死亡が多く発生した。その結果として入居の稼働率を維持するのに苦慮する事態となる。

また、コロナの影響によりシュートステイでも新規入居の利用が少なく稼働率も低迷していたが、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが昨年5月より5類に移行したことや、昨年度後期からシュートステイ占用の予約管理システムを導入したことで、手間のかからない継

続的営業活動が可能となり、その結果新規利用者の獲得が増え稼働率はコロナ前の水準に回復してきている。

特養リノ		R5 年度	年間日数：366 日	
【入居】			【ショート】	
月間稼働率			月間稼働率 (空所含む)	
R5 年 4 月	84%		R5 年 4 月	84%
R5 年 5 月	87%		R5 年 5 月	87%
R5 年 6 月	87%		R5 年 6 月	87%
R5 年 7 月	85%		R5 年 7 月	85%
R5 年 8 月	87%		R5 年 8 月	87%
R5 年 9 月	85%		R5 年 9 月	85%
R5 年 10 月	84%		R5 年 10 月	84%
R5 年 11 月	85%		R5 年 11 月	85%
R5 年 12 月	84%		R5 年 12 月	84%
R6 年 1 月	85%		R6 年 1 月	85%
R6 年 2 月	91%		R6 年 2 月	91%
R6 年 3 月	94%		R6 年 3 月	94%
*年間稼働率	86%		*年間稼働率	86%
*年間利用者合計数	27,548 名		*年間利用者合計数	2,527 名

職員採用・勉強会等：

令和元年度より入社後 3 日以内に新人研修を開始。特養とは何か、介護者の心構えなど 3 時間程度おこなう。結果として離職率の低下に繋がり、特に未経験で介護の経験がないスタッフの安定が図れた。

各種勉強会は例年と変わらず、コロナ対策を講じたうえで開催。参加者へは出席要請と確認を十分におこない、開催後のレポート提出の徹底により個々の習熟度合の把握をおこなった。

採用に関しては、派遣からの正職員への登用が主流となっている。ハローワーク、HP からの応募はほぼなかった。

総 評：

令和 2 年明けからのコロナ感染拡大により施設での備品の確保、職員・利用者の健康確認の徹底に苦慮したが、利用者の確保については相談員などの営業努力に加え顧客紹介に関する業務委託の締結やショートステイの予約管理システム導入などによりショートステイを中心に増加が顕著となり、安定した運営が行えた。

また、介護職員の定着に向けスキルアップすることで離職が減り、利用者の安定につながった。

社会福祉法人史明会

令和5年度 事業報告書

看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエ

概要

地域とのつながりについては、地域の体操教室（いきいき100才体操）の集まりを地下の会議室で令和5年2月から再開したが近隣住民からの騒音に対するクレーム（立ち話や通行時の音がうるさい）があり3か月で終了となった。

また、利用登録についても安定性が見込めず6月末で休止とし、別の事業形態での運営再開を検討したが、現状再開は難しいと判断し、3月末で廃止届を提出、事業所を廃止とした。

登録利用者については、1名はサービスの利用を見送るとのことで在宅生活のみとなった（6月末まで利用登録継続）。他は近隣の看護小規模多機能型居宅介護事業所へ、1名は特養への入所、2名は有料老人ホームに入居、1名は在宅サービスとデイサービス等の併用を利用することで、全利用者の他事業所への移行は5月中に終了した。

登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1													0
要介護2	5												5
要介護3	3	3	1										7
要介護4	1	1											2
要介護5	1	1											2
	10	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16